kriskadecor

CASA BATLLÓ - GAUDI

長い改修期間を経て、カサ・バトリョはその扉を再開し、カサ・バトリョ エクスペリエンス10Dの新たなツアーを開始しました。新しいカサ・バトリョでは、画期的で世界的にもユニークなバーチャル没入型の体験を提供します。新設された2000 ㎡のルーフトップからの下りのルートは日本の建築家、隈研吾氏によって設計され、kriskadecorのチェーンによって装飾されています。
カサ・バトリョが地中海の光へのオマージュであるように、隈研吾建築都市設計事務所によるこのプロジェクトは、モダニズム建築におけるガウディの光の使い方へのオマージュです。「それは屋上の明るい空から石炭燃料庫の暗い深みまでを移動するイメージです」と彼は語ります。抽象的な方法で、建物の色、素材、そしてこの歴史的側面からも解放された空間がつくられました。
カサ・バトリョのルーフトップから８つのフロアを降り、地下の石炭燃料庫までをつなぐ新たな階段には、164,000メートルものkriskadecorのチェーンが使用されています。「アルミのチェーンをまとったこの空間は、まるで漁網のように、細心の注意を払って光を捉え、明るさ、シルエット、影など、あらゆる形で見せる空間をイメージしました。他の素材の使用を省き、チェーンのみでブラインドボックスと階段の存在を消し去ることにより、私たちは光のみと対話することができるようになります。」スタートのルーフトップは明るいアルミニウムの色合いから始まり、地下の古い石炭燃料庫は黒い色合いになっていて、地下に達するまでだんだんと暗い色になっていきます。
天から地へ、光から影へ…まるでその建物を物語るかのように空間がつくられおり、しかしそれは光だけ表現されているのです。